

## 2. 人権に関する意識

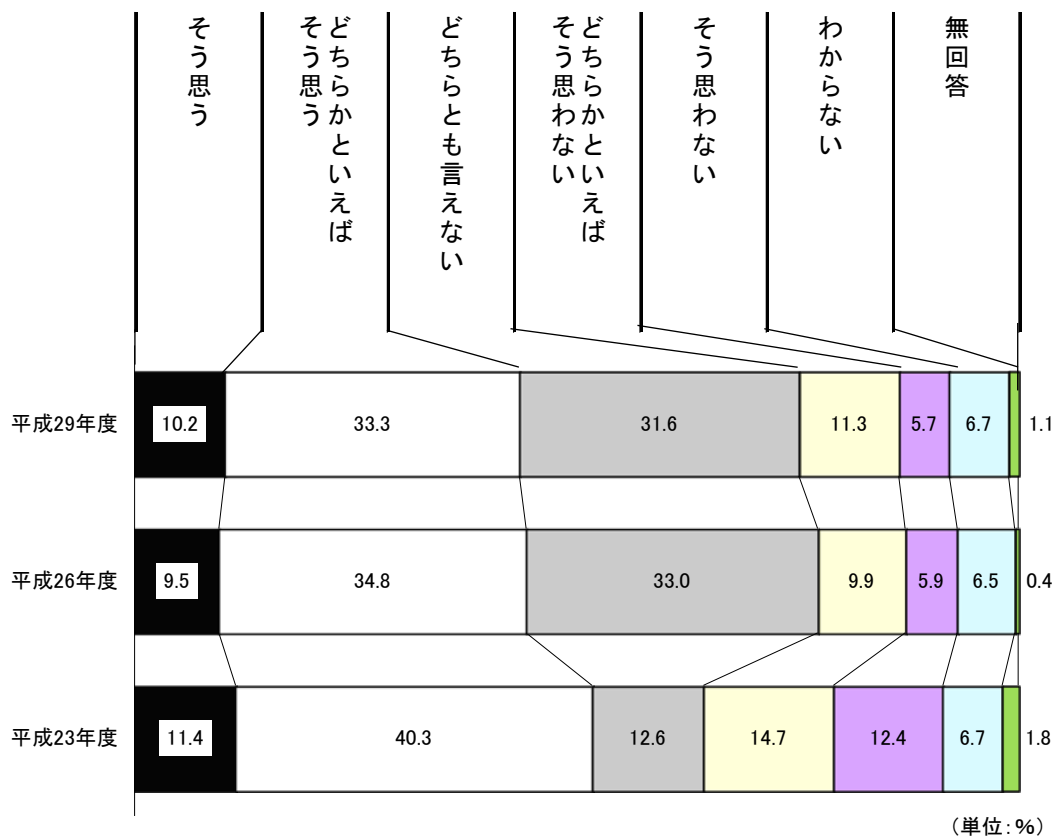
### (1) 人権の尊重

問4 日常生活の中で、人権が尊重されていると感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

### 人権の尊重について、肯定層、否定層ともに横ばい

人権の尊重について、「肯定層」(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」)の割合は 43.5%で、「否定層」(「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」)の割合は 17.0%となっている。

前回調査と比較すると、「肯定層」の割合は 0.8 ポイント減少、「否定層」は 1.2 ポイント増加とほぼ横ばいである。



#### <属性による比較>

##### 【生活圏別】

「肯定層」は、広島地方生活圏(43.6%)と備後地方生活圏(44.5%)はほぼ均衡、備北地方生活圏(36.4%)は最も低い。

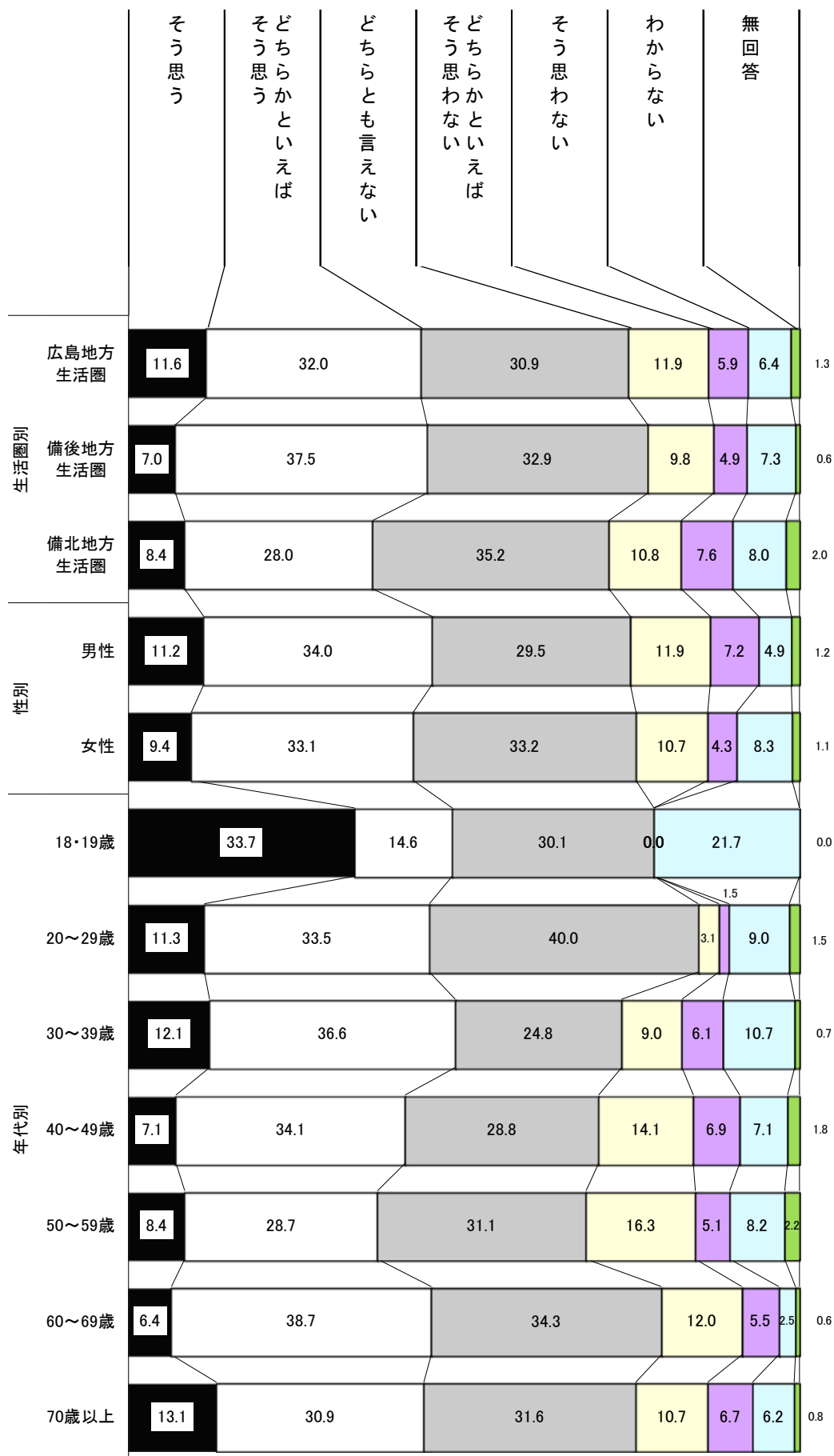
##### 【性別】

男性の「肯定層」(45.2%)は女性と比べて 2.7 ポイント高い。

##### 【年代別】

「肯定層」は 18・19 歳(48.3%)と 30 歳代(48.7%)で高く、「否定層」の割合は 40 歳代(21.0%)と 50 歳代(21.4%)で高くなっている。

### 人権の尊重(生活圏, 性, 年代別)



(単位: %)

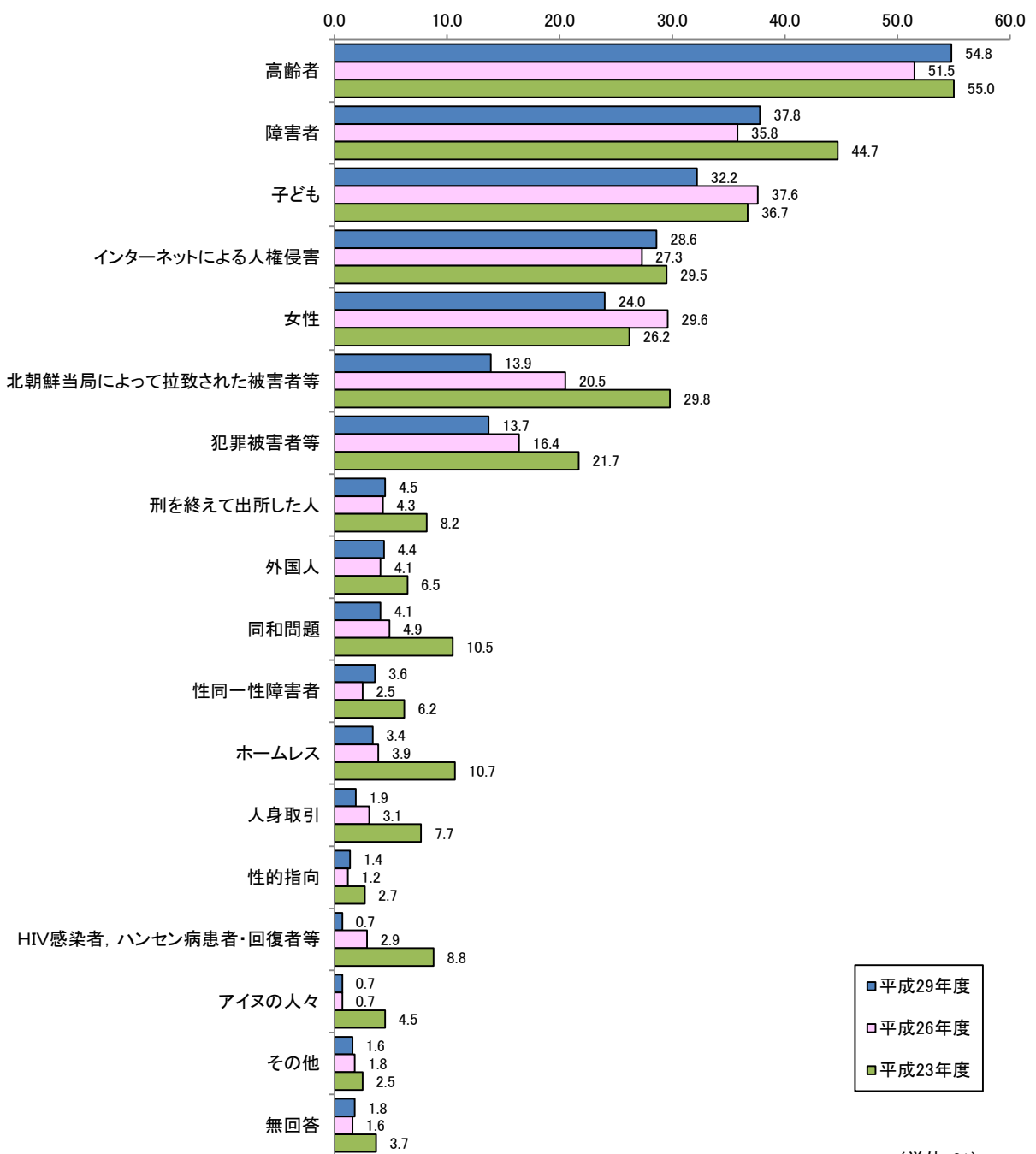
## (2) 人権課題への関心

問5 あなたはどのような人権課題に関心がありますか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。  
(M. A.)

### 人権課題の関心が高いのは 高齢者・障害者・子ども

人権課題で関心のある項目として、「高齢者」と回答した割合が 54.8%と最も高く、次いで、「障害者」が 37.8%、「子ども」が 32.2%、「インターネットによる人権侵害」が 28.6%となっている。

前回調査と比較すると、「高齢者」、「障害者」が増加している一方で、「女性」、「北朝鮮当局によって拉致された被害者等」は減少している。



(単位: %)

## ＜属性による比較＞

### 【生活圏別】

「子ども」に対する関心は広島地方生活圏(32.8%)と備後地方生活圏(31.4%)が3割を超えて高い。「障害者」に対する関心は備北地方生活圏(46.4%),「インターネットによる人権侵害」に対する関心は広島地方生活圏(30.1%)が他の生活圏と比べて最も高い。

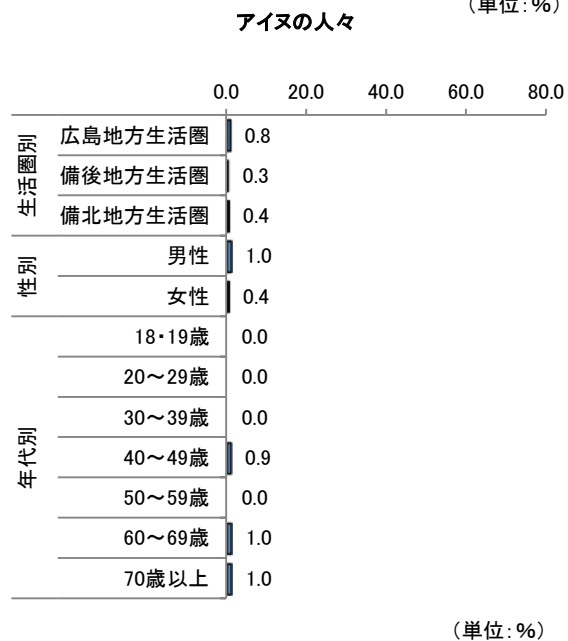
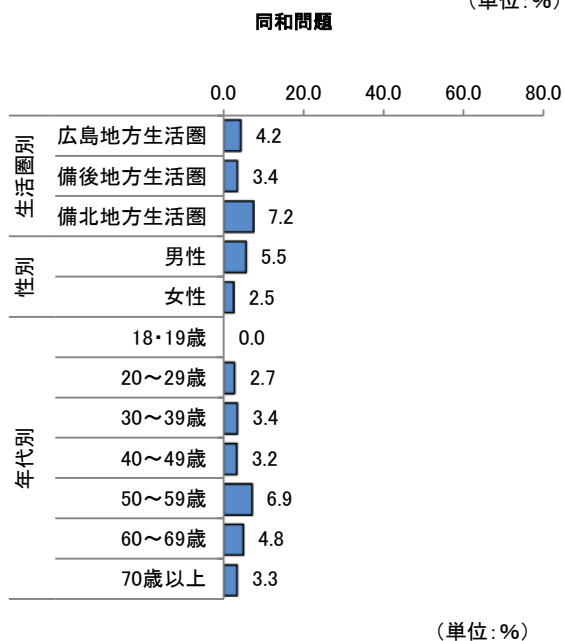
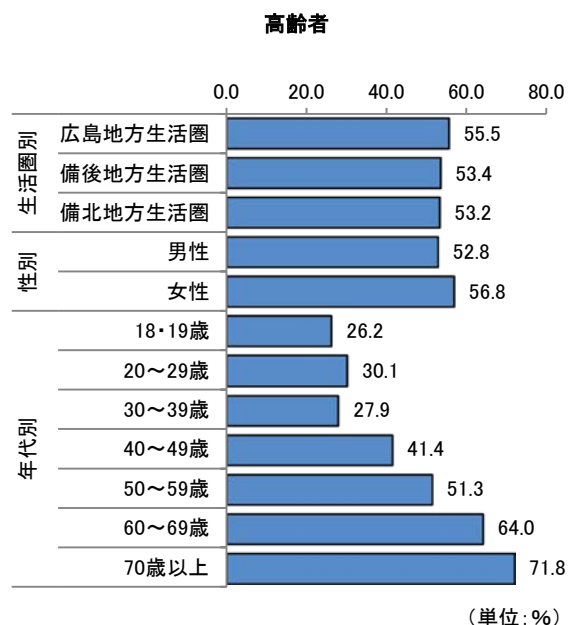
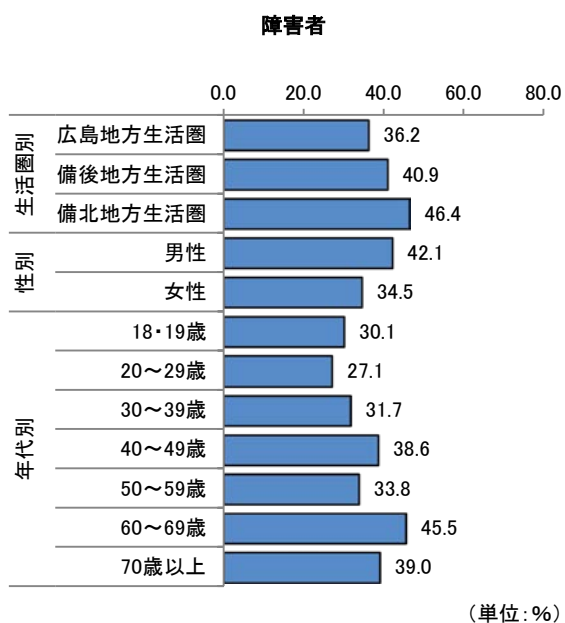
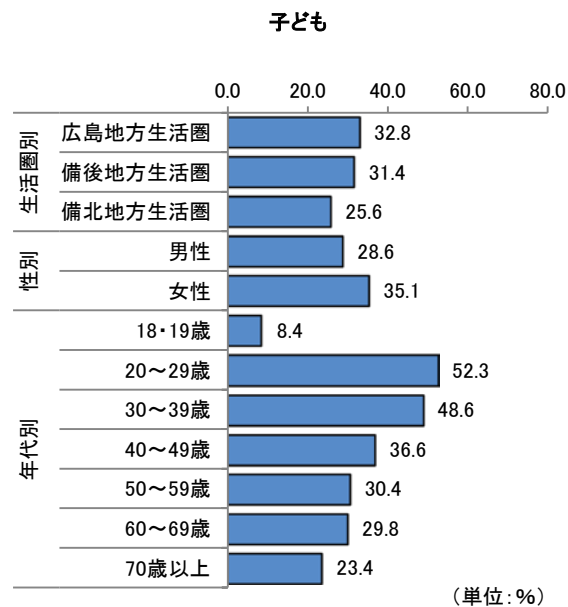
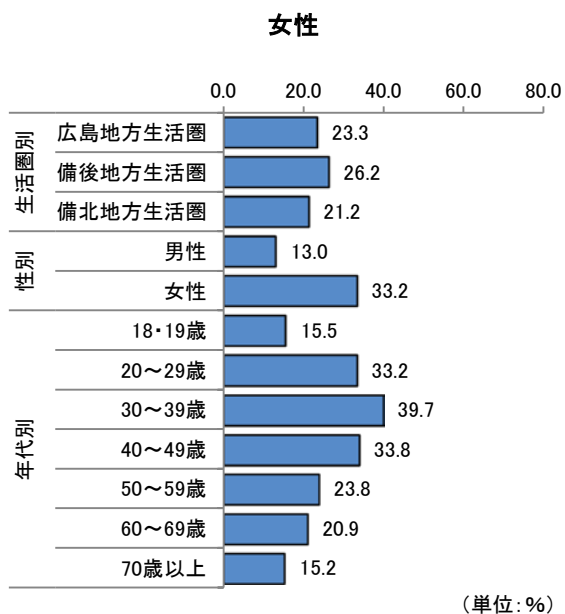
### 【性別】

男女ともに、「高齢者」に対する関心が5割を超えて高い。女性は「女性」(33.2%),「子ども」(35.1%)に対する関心が男性と比べて高く,男性は「障害者」(42.1%)に対する関心が女性と比べて高い。

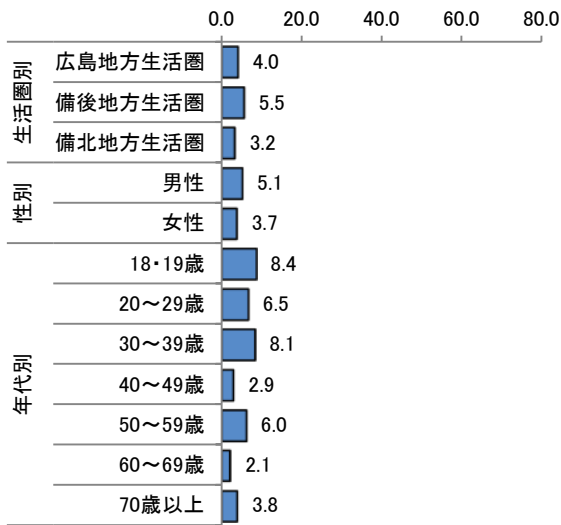
### 【年代別】

「女性」に対する関心は30歳代が39.7%と他の年代と比べて最も高い。「子ども」に対する関心は20～30歳代が半数前後と高い一方で,18・19歳は8.4%と最も低い。「障害者」に対する関心は60歳代(45.5%),「高齢者」に対する関心は60歳代以上が6割を超えて高い。「刑を終えて出所した人」,「ホームレス」,「性同一性障害者」に対する関心は18・19歳が他の年代と比べて高くなっている。

## 人権課題への関心(生活圏, 性, 年代別)

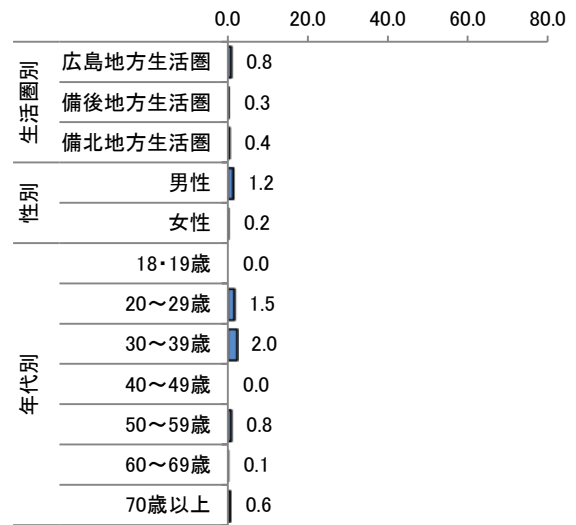


外国人



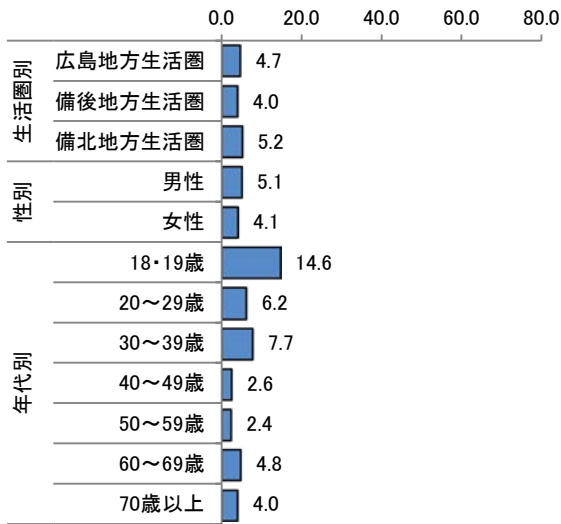
(単位: %)

HIV感染者、ハンセン病患者・回復者等



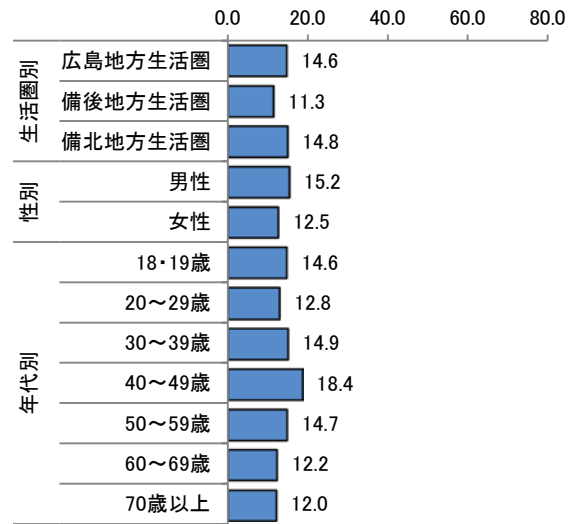
(単位: %)

刑を終えて出所した人



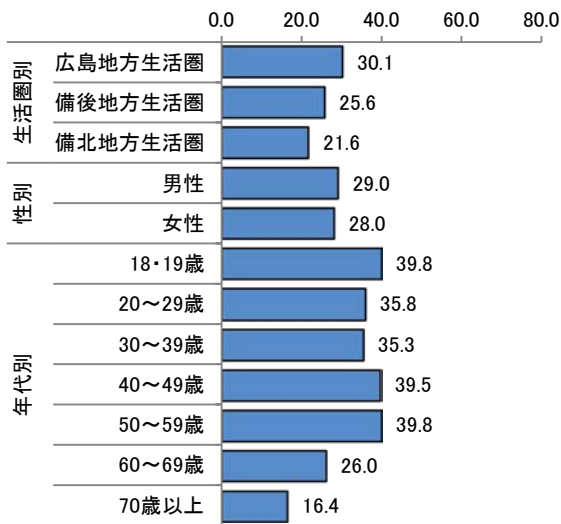
(単位: %)

犯罪被害者等



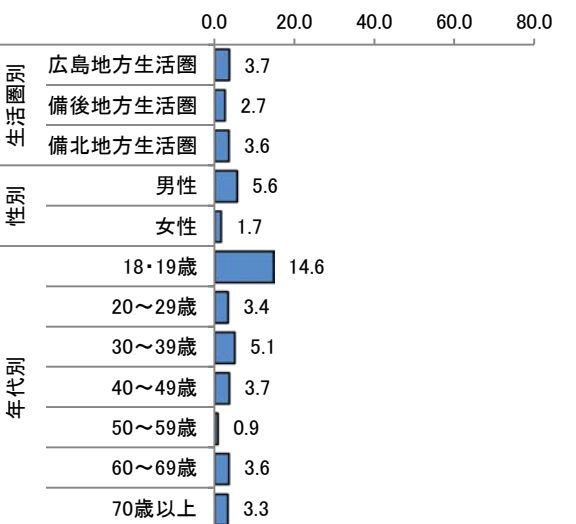
(単位: %)

インターネットによる人権侵害



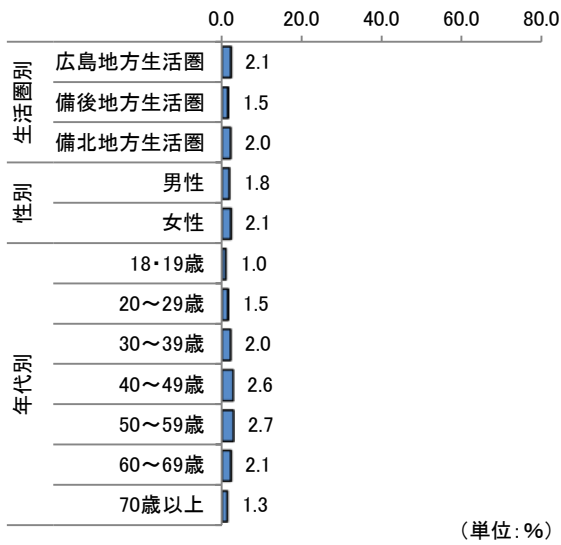
(単位: %)

ホームレス

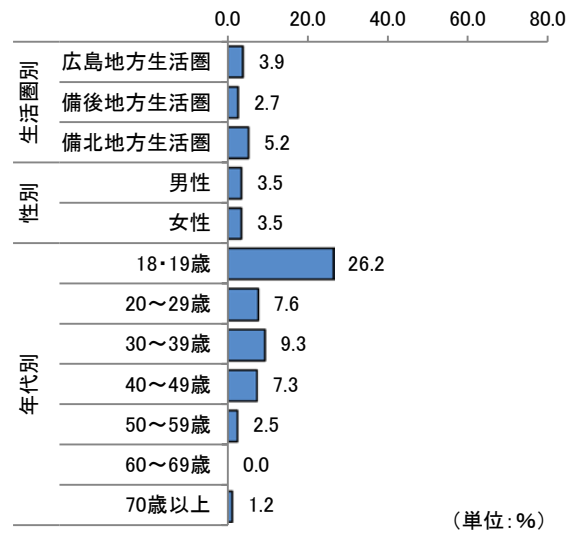


(単位: %)

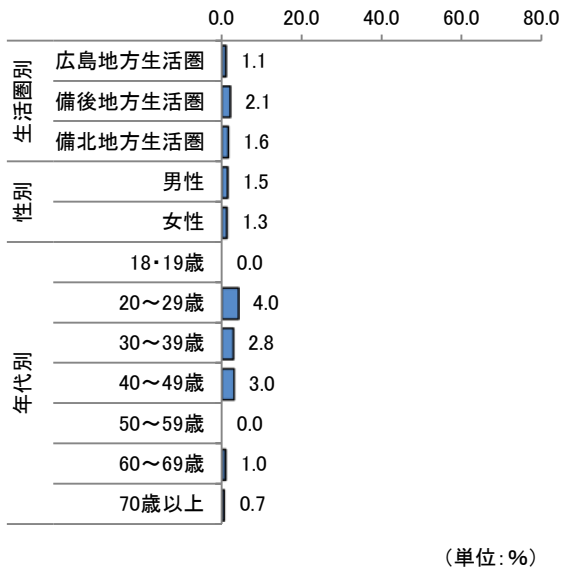
人身取引



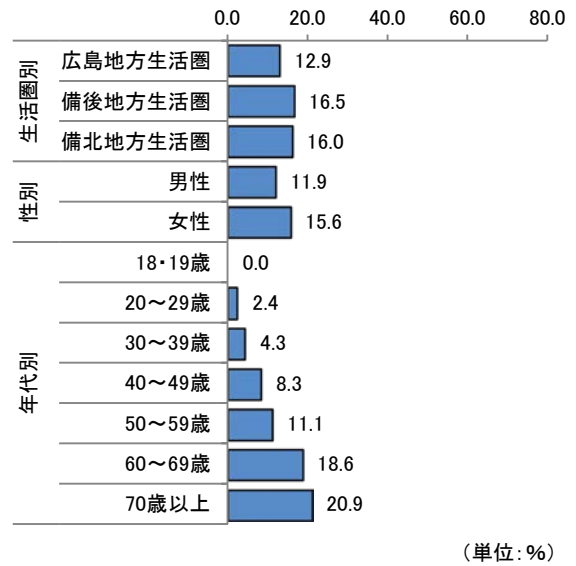
性同一性障害者



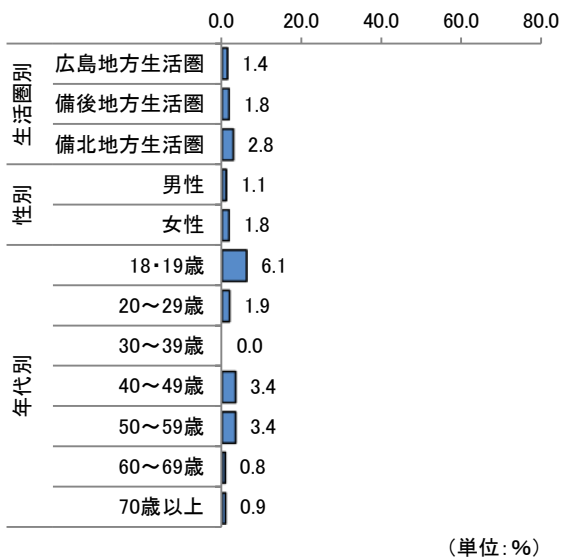
性的指向



北朝鮮当局によって拉致された被害者等



その他

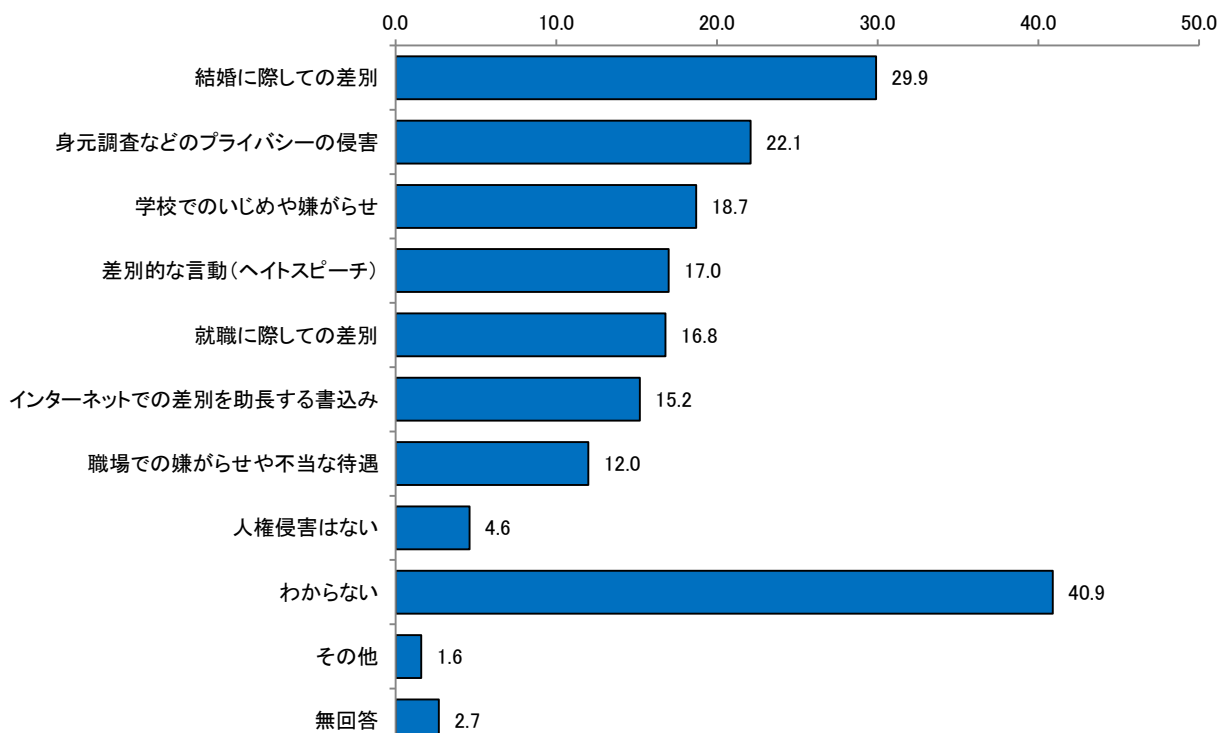


### (3) 同和問題に関する意識

問6 昨年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律(平成28年法律第109号)」が施行されましたが、この差別がどのような形で現れていると思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。(M. A.)

## 「結婚」に際しての差別を感じる人が約3割

差別がどのような形で現れているかについて、「結婚に際しての差別」と回答した割合が29.9%と最も高く、次いで、「身元調査などのプライバシーの侵害」(22.1%)、「学校でのいじめや嫌がらせ」(18.7%)となっている一方で、「わからない」と回答した割合が40.9%となっている。



(単位: %)

#### <属性による比較>

##### 【生活圏別】

「学校でのいじめや嫌がらせ」は広島地方生活圏(19.9%)が最も高く、備北地方生活圏(11.6%)が最も低い。「差別的な言動(ヘイトスピーチ)」は広島地方生活圏(19.1%)が最も高く、備後地方生活圏(11.6%)が最も低い。「就職に際しての差別」は広島地方生活圏(18.6%)が最も高く、備後地方生活圏(12.2%)が最も低い。

##### 【性別】

「インターネットでの差別を助長する書き込み」は男性(17.1%)が女性と比べて3.6ポイント高く、「わからない」は、女性(43.2%)が男性と比べて4.8ポイント高い。

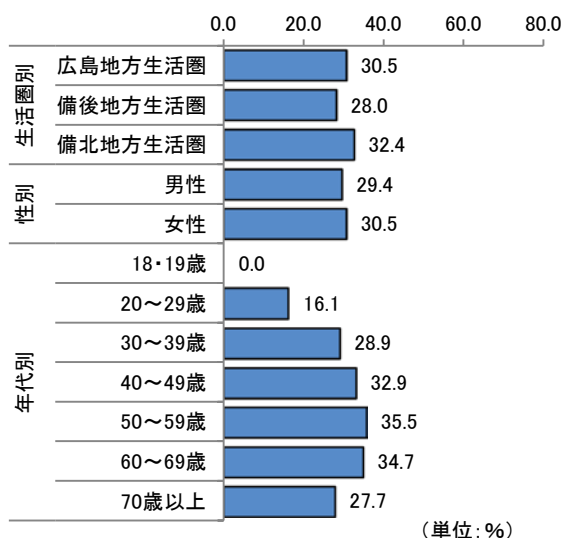
##### 【年代別】

「結婚に際しての差別」は40~60歳代が3割を超えて高く、中でも50歳代が35.5%と最も高い。「インターネットでの差別を助長する書き込み」は18・19歳(31.4%)、「身元調査などのプライバシーの侵害」は60歳代(30.5%)が他の年代と比べて高くなっている。「わからない」は20歳代が56.0%と最も高い。

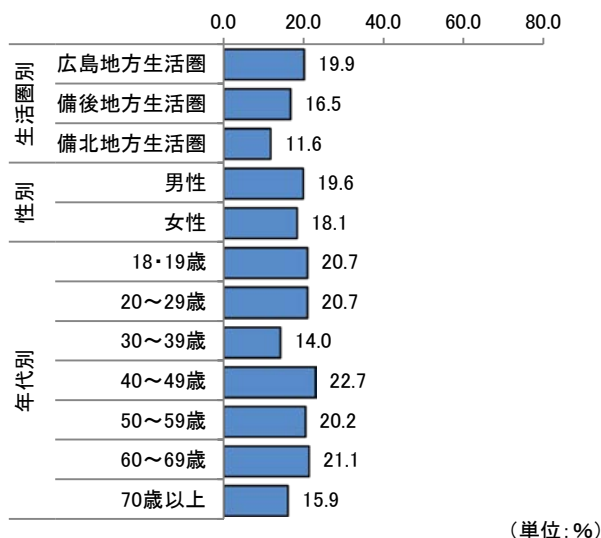


## 同和問題に関する意識(生活圏, 性, 年代別)

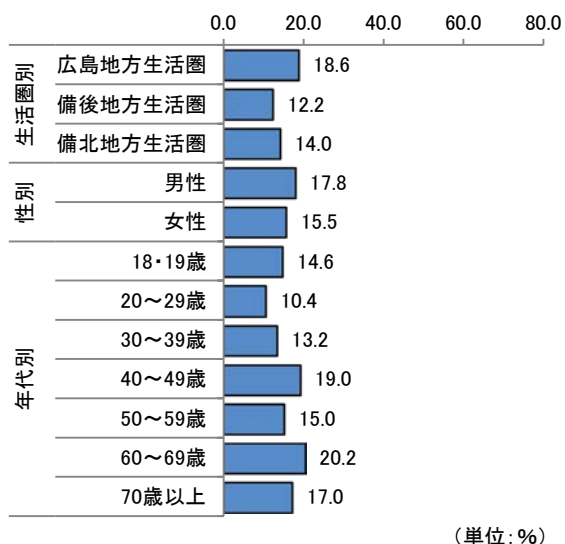
### 結婚に際しての差別



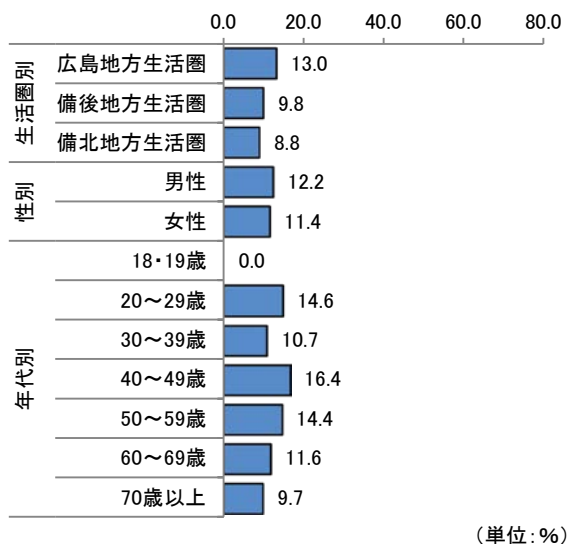
### 学校でのいじめや嫌がらせ



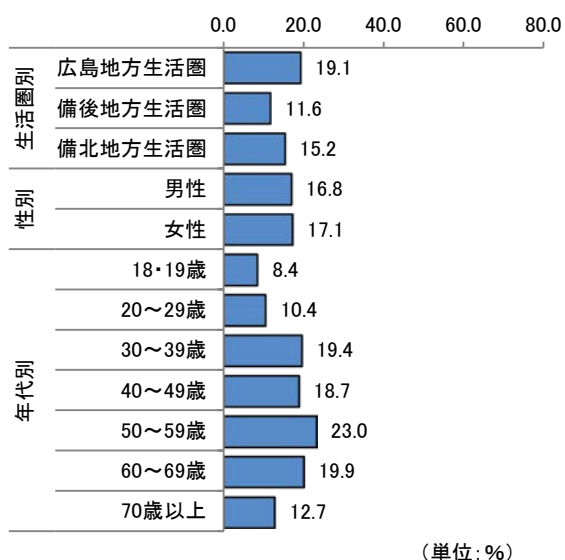
### 就職に際しての差別



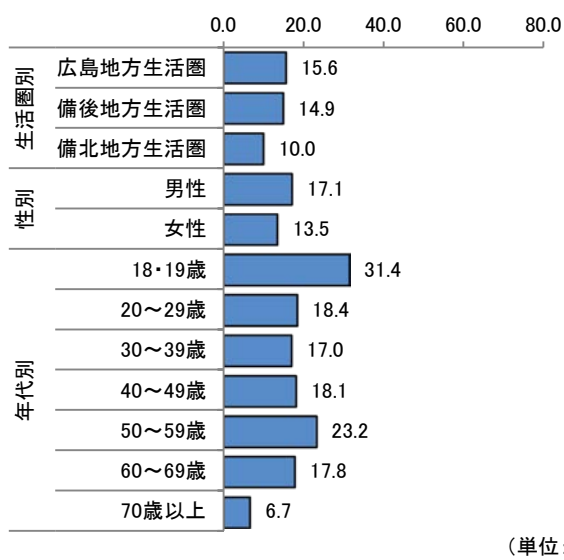
### 職場での嫌がらせや不当な待遇



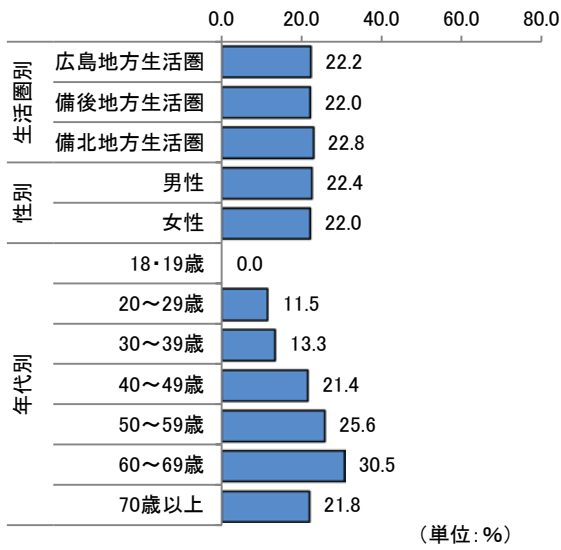
### 差別的な言動(ヘイトスピーチ)



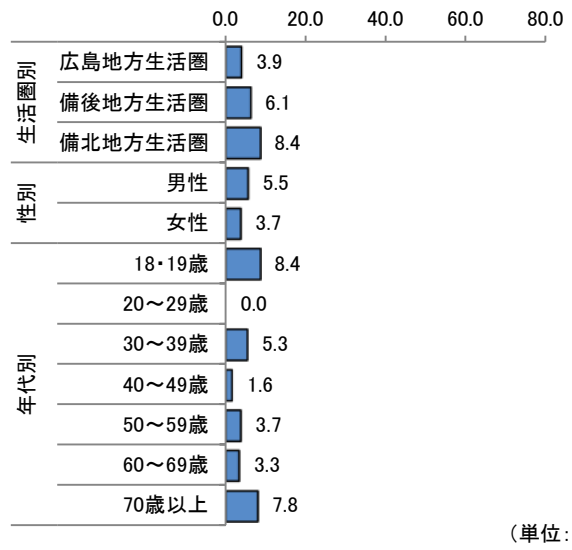
### インターネットでの差別を助長する書き込み



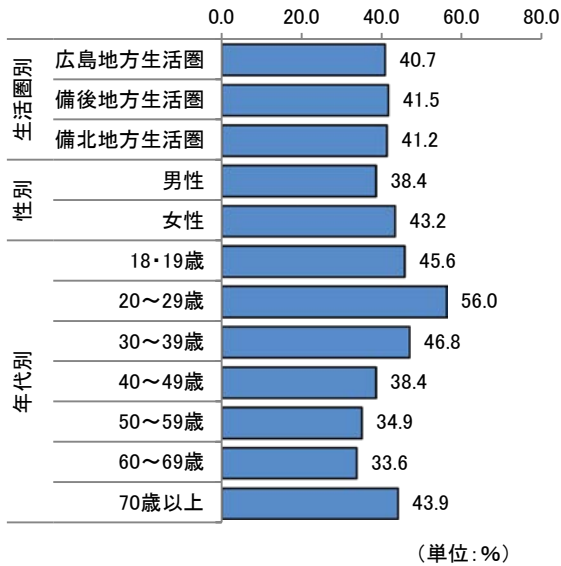
身元調査などのプライバシーの侵害



人権侵害はない



わからない



その他

